2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 76 社会福祉法人三幸福祉会(清華苑)

記入日 2023年(令和5年)4月5日

	2030年までに 達成したいこと	○住民が住み慣れた地域で、 を作る。 ○専門職による福祉教育等を る。			3. 関	関連する	1 505	2 ANT	3 #459AL —	4 ROAL-KRE	5 9204-482 Q	6 modality	7 *************************************	8 #2011	9 ##4467
2.	取組の概要	○住民が住み慣れた地域で、 に社会参加や地域交流の機会 ○専門職による福祉教育等を し、地域福祉力の向上を促送	stを提供する。 E通して、地域福祉の打			ゴール	10 AMBORTS ACCES	11 to Militaria	12 CORP	13 京弘を計で	14 20255 250	15 #0###################################	16 *#coae	17 Andrews August	
4. 主な取組の達成状況															
(1)		会福祉協議会、地域団体等の で健康教室やサロン等を月1	①目標値			②当初値		③実績値				達		達成度	
			健康教室やサロン等 の開催	100	回		10			12				回	12%
			2030		2	021年度		2022年度			2023年度				
(2)			①目標値			②当初値		③実績値					達成度		
		学校、高等学校や企業、地域 遣して福祉教育等を行う。ま や実施も行う。	専門職の派遣等	100	回		8			9				0	9%
			2030年度			2021年度					2023年度				
(3)	・市内外の20ケ所以上の教育機関及び諸団体と 連携を図る。		①目標値			②当初值		③実績値			績値	<u>i</u>		達成度	
			教育機関及び諸団体 と連携を図る	20	ケ所		4	ケ所		7	ケ所			ケ所	35%
			2030年度			2021年度			2022年度 2023年度				麦		
5.	新型コロナウイルス禍においても感染対策を実施しながら健康教室を定期的に 実施することができたが、飲食を伴うサロンは中止せざるを得なかった。また 新型コロナウイルスの影響もあり、特に重症化リスクが高いとされる高齢者は 外出の機会が減っており、体力や筋力の維持に対する不安が高いようで、健康 教室への期待や意欲を感じた。						団体名:社会福祉法人三幸福祉会 担当課:法人本部 電 話:078-934-0800 メール:tamura@seikaen.jp 担当者:田村								
6.	今年度は新型コロナウイルスの感染対策が緩和される見通しであることから、 今後の課題 と取組 と取組 今年度は新型コロナウイルスの感染対策が緩和される見通しであることから、 飲食を伴うサロンを実施したい。また高齢者と園児達の交流については間接的 なものに限られていたため、今後は直接的な交流にも取り組んでいきたい。さ らにはSDGsに取り組んでいる民間企業(福祉以外の分野)との連携を積極 的に行いたいと考えている。						連携希望連携希望○あかしSDGsパートナーズに登録している 教育機関との連携を希望します ○「介護」「高齢者」「福祉」に関心が高い 民間企業(福祉以外)との連携を希望します								高い